

歴史探訪

其の132
History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

「大場民平の石碑」 村の願いを記した碑

昨年、田原南部小学校の4年生から、大場民平のことを勉強したいという相談がありました。しかし、名前も知っていませんでしたが、参考になる本もなく、どんな人なのかわかりません。小学校の裏山に石碑があるので、早速刻まれた文字を見ながら、民平がどのような人か調べました。大場民平は、庄屋の長男として元治元年（1864）9月2日、大久保村に生まれました。若いときから



●大場民平の石碑
大久保区民の名で建てられました

村人に信頼され村の議員となり、さらに村長になりました。明治39年に田原町と合併すると、町郡会議員、田原町長にもなりました。ここまでは、地域の有力者の一人という印象です。石碑には、民平の最も偉大な功績は耕地整理を進めたこととあります。民平は村の人たちと組合を設立し、大正6年から昭和2年にかけて耕地整理を行いました。村を豊かにするために農業の振興が必要で、その生産を高めるための耕地整理は最も取り組むべき事業でした。しかし、大型機械を使用しても大変なのに、農作業で使う鋤や備中が主な道具だった時代には、まさしく村の命

運をかけた夢のようなことだったでしょう。そして大正11年、この事業に、最新の耕す機械（牽曳機）が国から貸与され、驚異的に能率が向上しました。民平らの努力が、事業の成功に導いたのです。

また民平は、村長在職中に、学校の建築など教育にも力を入れました。常に民平の行動には「村づくり」というキーワードがありました。おかげで大久保は、豊かな村の象徴であるきれいに整った畑と、仲良く、思いやりの心がある人のあふれた村に変わりました。民平の村を思う気持ちに通じたのでしょうか。石碑の文章では、民平の業績やその教えは、村人たちにずっと伝えられ、忘れられることはないであろうと結んでいます。

今回感激したのは、このような石碑は、偉人の顕彰だけで終わってしまう場合が多いのですが、村人の感謝の気持ちがつづられているばかりでなく、この村

が人づくりを目指そうとした願いが伝わってきたからです。民平も自分が顕彰されるより、それを望んでいたに違いありません。民平のことを児童とともに勉強させてもらい、また一人、郷土の素晴らしい人を発見しました。

（増山）



●民平の石碑からの景色

今月の「表紙」

▼毎年5月の初風祈願祭で美しい初風。念願だった制作風景の撮影をさせていただきました。丁寧に迷いなく色を塗っていく絵師の筆さばきに見とれていたら、「描いてみる？」と聞かれた私。教えていただき、試し書き用の紙に武者のヒゲを描いたら、緊張で曲がりました…。(〇)

【表紙の写真】初風制作風景（浦町）